



# シルバー ふじえだ

平成23年3月31日

第45号

発行

社団法人

藤枝市シルバー人材センター

藤枝市藤枝五丁目3番20号

☎054-641-5565

会員数 男760名・女420名

計 1,180名 (2月28日現在)

印刷 株式会社石垣印刷

## ガンバルーン体操

### パワフルシルバー事業



高齢者が寝たきりにならないように予防対策として始められた遊びながらできる体操です。

平成22年度からシルバー人材センターでは新しく「パワフルシルバー事業」を立ち上げ活動しています。

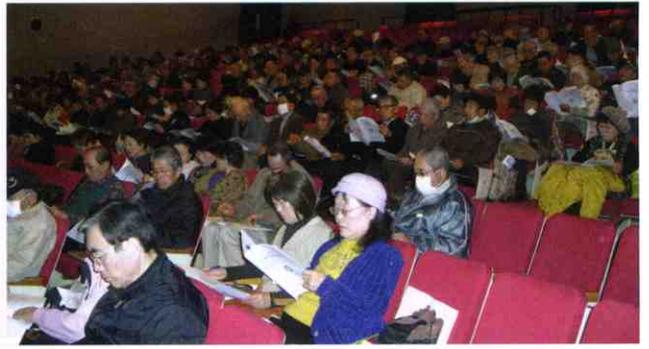
今後ますます増加する高齢者が、毎日の生活を寝たきりにならないよう楽しく過ごすことが大切です。自分自身が、生活の姿勢をいかに前向きに考えるか大変必要になってくると思います。

シルバー人材センターでは、高齢者の寝たきりを防止する目標に向けて老人クラブや、地区の社協が主催するふれあいサロン等、高齢者の集いの場を利用し、健康体操を開催し、寝たきり防止運動の働きかけをしています。

また、健康体操の指導が出来るインストラクターを、会員の中から養成する事業も行われております。機会がありましたら皆で誘い合って健康体操教室に参加してみませんか。

#### 東北関東大震災

被災された皆様に  
謹んでお見舞い申し上げます。



# 第53回 通常総会

## ごあいさつ

第53回通常総会が、会員多数の出席のもとで開催されました。ことに、感謝申し上げます。

ご来賓の皆様には、日頃から当センターの運営にご高配をいただき、厚くお礼申し上げます。また、本日は公私ともに多忙の中、ご臨席を賜り誠にありがとうございます。

藤枝市シルバー人材センター理事長 大井市郎



ターを取りまく昨今の状況は、補助金の削減や事業の受注件数の減少などによって、このままでは運営が極めて困難となるのが予想されます。

## 現状の厳しさを克服して シルバーの充実・発展を

このため健全な財政運営を確立すべく、歳入の確保・歳出の見直しをはじめ、組織の在り方等について、理事会に諮り『財政基盤安定化検討委

員会』を立ち上げ検討してまいりました。なお、前回の総会でもお話ししました公益社団法人について、理事会で決定していただき、県シ連等のご指導のもとで移行の準備を進めています。会員互助会につきましては県下の各センターの状況を調査検討して、規定の見直し

を行ないますが、このことも、当センターを開設して初めて経験する運営の厳しさであり、会員の皆様にはご理解いただきたいと存じます。

現在、会員1千2百人を擁する大きな組織となり、会員・職員・役員が一丸となってセンターをさらに大きく発展させたいと思いますので、平成23年度に向けて、皆様のご支援・ご協力をお願い申し上げます。

第53回通常総会が、去る2月11日（金）に開催されました。

この日は、寒さの厳しい雨の日でしたが、会員多数の皆さんが会場の藤枝市民会館に出席していただき、平成23年度の事業計画などの5議案が、すべて承認されました。

なお、ご多用の中を本総会に、ご来賓として藤枝市副市長桜井幹夫様、市議会議長池田博様、県議会議員佐野愛子様・落合慎吾様、市議会文教建設経済委員長岡村好男様のご臨席を賜り、厚くお礼申し上げます。

## 仕事が生む、元気なシルバー

### 第2次中長期計画のスタート

総会の承認をいただき、そして定款の変更などの準備作業を進め、平成24年4月の移行をめざします。

#### 第1号議案 公益社団法人への移行について

この議案は、シルバー人材センターを社団法人から公益社団法人に移行するために、

当センターでは、理事会において検討を重ね、これから高齢社会を支え、地域の中核的な組織として発展させる

ために、公益法人へ移行し事業を展開していきます。

#### 第2号議案 平成23年度の補正予算

この補正予算は、市の補助金による収入増と、事業活動支出費を減額して、予算総額を4億5千7百70万6千円と

する補正予算です。

#### 第3号議案 会費規程の一部改正 年会費を2千円に

正会員の会費は、年額1千円でしたが、平成23年度分から2千円に改正します。

この改正は、シルバー人材センターの仕事の受注減や、国・県・市からの補助金が減額になるなど、財政運営の困難が予想されるため、財政基盤安定化検討委員会を設置し

て、歳入の確保・歳出の見直し等を検討し、理事会の協議を得て、会費を改正することになりましたので、ご理解をお願いいたします。

#### 第4号議案 平成23年度・基本計画

当センターが設立されて以来、はじめて直面している運営の厳しさの中で、平成23年度のスタートです。

また、本年度は第2次中長期計画の初年度になりますので、この計画が目指す当センターの将来像「仕事が生む、元気なシルバー」の実現に向けて、事業計画を推進します。

## ◆第5号議案

### 平成23年度・収支予算

本年度の基本方針に基づいた予算は、事業活動収入額を4億5千7百85万8千円とし

## 平成23年度・基本計画

### ▼会員の増強と

#### 就業の積極的な開拓

●民間企業・自営業者・民生委員等を就業開拓専門員が訪問して、センターのPRと受注に努めます。  
●会員が、地域において会員の募集と就業の機会確保に努めます。

て編成し、地域の産業・市民生活に役立つシルバー人材センターとして、様々な事業を推進します。

### ▼安全就業の徹底

●安全就業を最優先に取り組み、傷害事故や賠償事故の防止と、交通事故を防ぐ安全講習会を実施します。  
▼技術作業の需要に応え  
●技術会員等の拡大

●専門的な技術技能の需要に対応するために、資格等を

持つ会員の把握と増員に努めます。

### ▼効率的な組織運営と 財政基盤の確立

●地域社会や発注者のニーズに応じて、効率的な事業運営に努めます。

●事務事業の効率化のために、常に「費用対効果」を検証して、自主財源による健全な財政運営に努めます。  
▼シルバー派遣事業の  
調査と研究

●就業機会の拡大や適正な就業に配慮した派遣事業が望まれており、これらの課題

## 来賓祝辞

藤枝市シルバー人材センターの通常総会が開催されるにあたり、一言お祝い申し上げます。



藤枝市副市長 桜井幹夫

## 皆さんの事業活動が 市民生活の安心に貢献

日頃、皆様方には労働行政につきましても、多大なるご支援・ご協力をいただきまして、厚くお礼申し上げます。

皆様の事業活動は、単に高齢者の就業促進に留まらず、医療費の抑制や介護予防の推進に寄与しており、こうした事業活動を展開されている会

の、失業率が依然として高水準にあるなど、厳しい状況が続いているというのが現状であります。

厳しい財政状況のなか、国・県での「事業仕分け」や、本市での「全事業総点検」に

体制の見直しや、健全な事業運営を行なうための財政基盤の確立などの取り組みが求められております。

このような中、会員の皆様

を理事会・専門委員会において調査・研究します。



働くことを通して自らの生き方を高めるとともに、地域社会に貢献することにより、誰もが安心して暮らせる社会を実現するために、ご尽力いただきますようお願い申し上げます。

藤枝市としても、大変厳しい状況にありますが、引き続き支援をまいりたく考えております。

結びに、藤枝市シルバー人材センターのご発展、併せて、会員の皆様方のご健康・ご活躍を心から祈念いたします。挨拶とさせていただきます。

### ▼介護保険事業の推進

●介護保険法の改正により会員の就業が厳しくなっていますが、居宅支援や訪問介護をさらに充実して、利用者に安心していただけるサービスを提供します。

### ▼福祉・家事援助 サービス事業の推進

●介護保険の対象にならない高齢者をサポートして、気楽に利用していただける質の高いサービスを努めます。  
●身体障害や視覚障害の方の外出支援・生活支援を充実します。

### ▼広報活動

#### ホームページの充実

●「シルバーふじえだ」やミニ広報紙「ふれあいネット」を発行して、広く市民や会員とセンターとのコミュニケーションを図ります。

また、ホームページの内容も充実します。

#### ▼奉仕活動

●地域社会に支えられて事業活動を展開しているシルバー人材センターは、会員が就業していることに感謝し、奉仕活動に努めます。

# 会員の皆さんへ

平成23年度から

会員の年会費が変わる

互助会の慶弔関係なども改正

本年2月11日に開催された第53回通常総会と会員互助会の臨時総会において、会員年会費を改正する議案と、互助会の慶弔に関すること・同好会に関することの会則を改正する議案が提案され、それぞれ承認されました。改正された内容は、次の表のとおりです。

年会費					
変更前			変更後(23年度~)		
年会費合計額 2,000円			年会費合計額 3,000円		
内訳	正会員会費	1,000円	内訳	正会員会費	2,000円
	互助会会費	1,000円		互助会会費	1,000円

- ・継続会員は6月総会までに納入していただきます。
- ・新規入会会員は入会申込時に入会年度分を納入していただきます。

互助会慶弔費					
変更前			変更後(23年度~)		
喜寿の祝い金	10,000円		喜寿の祝い金	5,000円	
会員の入院	10,000円		会員の入院	5,000円	
会員の死亡	20,000円		会員の死亡	10,000円	
傘寿の祝い金	10,000円		※上記以外の慶弔費支出は廃止されました。		
配偶者の死亡	10,000円				
火災・水害	10,000円 ~20,000円				

- ・平成23年4月1日申請分から変更します。

互助会サークル助成金					
変更前			変更後(23年度~)		
1サークル	10,000円		1サークル	10,000円	
サークル登録会員1名に付 1,000円 (※サークル会費納入会員)			※サークル登録会員割の助成は 廃止されました。		

- ・平成23年度分助成金から変更します。



活躍するシルバー会員 藤棚の剪定作業

## 発注者の皆様へお願い

### 契約に係る事務費率を改定

最近の社会経済状況は、シルバー人材センターの運営にも影響しており、自主財源の確保も困難になり、事務の効率化など運営経費の削減に努めておりますが、このたび事業発注者の皆様方にご理解とご協力をお願いいたしまして、事業活動の契約に係る事務費率を、平成23年度から下表のように値上げさせていただきます。よろしくお願い申し上げます。

変更前	変更後(23年度~)
配分金額の5%	配分金額の7%

- ・請求月が平成23年4月分となるものから変更します。

# 総会で公益社団法人への移行を決議

＊

## 新公益法人制度について

当センターは、第53回通常総会（平成23年2月11日）で公益社団法人へ移行することを決議いたしました。改めて新公益法人制度についてご説明します。

### ●これまでの公益法人の状況

従来の公益法人は民法第34条（新制度において廃止）に基づき主務官庁の許可を得て設立され、様々な活動をしてきました。

★ 当センターは、昭和59年6月19日に社団法人として設立するための第1回総会を開催し、同年12月10日に静岡県知事の許可を受け社団法人として現在に至っています。

### ●これからの公益法人制度

現行の公益法人の設立許可制度が改められ、平成20年12月1日に施行された新公益法人の根拠となる法律により、今までの公益法人は「一般社団法人」又は「公益社団法人」のどちらかに移行しなければなりません。（どちらも申請しなければ解散となります。）

★ 当センターはこの法律により現在、特例社団法人となっており、平成24年4月に向け「公益社団法人」へ移行することが総会で承認されたところです。

### ●公益目的事業とは

新制度の「公益目的事業」は学術、文化芸術、慈善その他の公益に関する事業（公益認定法2条に掲げる23の事業）であって不特定多数の者の利益の増進に寄与する事業をいいます。

★ 当センターは、この23事業の中の「高齢者の福祉の増進を目的とする事業」及び「勤労意欲のある者に対する就労の支援を目的とする事業」「地域社会の健全な発展を目的とする事業」に該当いたします。

### ●これからの取組み

特例社団法人は、この法律に基づき、移行期限である平成25年11月30日までに静岡県知事に移行申請を行わなければなりません。

★ 当センターの取組み予定

平成23年6月総会

定款変更案、会費規程等の諸規程案、理事・監事の選任等の承認

平成23年7月頃

総会承認後、速やかに県知事へ公益認定申請

平成23年7月以降

静岡県公益認定等審議会による審議

平成24年3月

公益認定の答申及び認定

平成24年4月

新公益法人の登記、スタート

### ●公益社団法人に移行すると

- 「公益社団法人」の名称が使える。
- 「公益社団法人」ということで高い社会的な信用が得られ、市民から安心して発注していただくことができる。
- 税制面での優遇がある。
- 理事会で事業計画、予算を承認することになるので状況に応じて機動性が発揮できる。
- 年1回の総会となる（従来は2月と6月の年2回の開催）

平成22年度・地区長・班長

# 「耕作放棄地を再生した野菜作り」

## 視察研修に参加して

稲葉 原田 昌宏

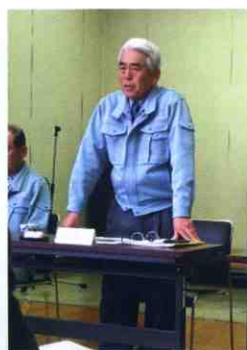


伊豆市シルバー人材センター事務所前にて 平成23年3月8日

最近、新聞やテレビでよく「耕作放棄地」の問題が取り上げられる。日本の農業の衰退を象徴的に表している「耕作放棄地」とは、・・・農水省の定義によると「過去1年以上農作物が作付けされていない。また、今後も作付けの予定がない」と回答されている田畑、果樹園をいう。このような耕作放棄地、静岡県全体ではどれくらいあるのか、県に最新のデータを教えてもらった。それによると県全体の耕地面積52,288畝に対して12,495畝23.8%の耕作放棄地があるとのことだった。この数字05年には、10.5%だったというから、かなりのハイペースで毎年増えていることになる。近い将来、世界規模での食糧不足が喧伝されている中で食糧輸入大国のわが国にとって深刻な問題となっている。

このような事態に行政もようやく重い腰を上げて放棄地再生に向け対策を講じ始めた。こうした行政の後押しをテコに放棄地再生を自主事業として取り組み始めた伊豆市シルバー人材センターが今回の視察研修の目的地に選ばれた。

昨日までの雨も上がり、早春の陽光もまばゆい3月8日



理事長、事務局長それに事業開拓委員会の理事数名も加わり総勢37名を乗せてバスは東名高速、沼津ICを経由し伊豆路に入った。狩野川べりの満開の河津桜が私達を迎えてくれた。

伊豆市シルバー人材センターの研修会場の机の上には、すでに今日の研修のためのいろいろな資料とともに、地元銘菓とお茶が用意されていた。その温かなもてなしに心を打たれた。土屋理事長の歓迎のあいさつに続いて研修に移った。

「耕作放棄地を再生した野菜づくり」をテーマに稲村課長がスライド写真を使いながら説明をした。

何年も耕作をしていない荒廃した放棄地1,800㎡の土壌改良の苦労から玉ねぎ、ジャガイモの植え付けも終え、この春の収穫、さらにその先の安定的な販路の獲得などのめどが着いたことなど熱っぽく語ってくれた。この伊豆市シルバー人材センターの自主事業が順調に滑り出した背景には、行政やJAの強力なバックアップがあったればこそと感じた。

今後さらに耕地の拡大の予定とのことだが、将来的にシルバー人材センターの本来の目的である会員の就業機会の増大、労働に応じた配分金の確保などの採算性を維持出来るか注目される場所である。

研修の後、大仁洋ランパークでの昼食、ラン植物園の見学など順調に予定を消化して5時前に藤枝に戻って来た。



## 聞こえにくくなった?

ケアマネージャー 茂川美代子

「年だから仕方ないよ」とあきらめてはいませんか。原因によっては、耳鼻科へ通院すれば治るものもあれば、補聴器を使いもとに近い聴力を取り戻す人もいます。

65歳以上の約7割の人は耳が聞こえにくくなっていると聞われています。聞こえにくくなると意思疎通がむずかしくなり、人と会うのがおっくうになる。聞こえにくくなる  
と脳への刺激が減り、認知症の進行を早めることにつながる  
とさえ言われています。

耳の遠い高齢者と接する時、耳のそばで大きな声を出し話しかけていますが、本人にとっては怒られているような気持ちになるようです。高齢者の難聴はゆっくり進行します。テレビの音を大きくしたり、家族との会話が通じなかつたりします。聞こえないのが原因で家族だんらんに加われず、疎外感を抱いてしま

います。「最近いらいらしてひがみっぽくなった」と感じたら、まずは健診がてら、耳鼻科受

診をしてみましょう。短期間で起こった難聴の原因として多いのは耳あかのつまりです。風呂上がり綿棒で掃除をしましょう。奥の方にある耳あかは耳鼻科で取ってもらうほうがよいでしょう。

### 耳の遠い人とのコミュニケーションのポイント

- 1 まわりの雑音をできるだけ少なくする。
- 2 相手の目を見て、こちらの口の動きがわかるように話す。
- 3 普通の大きさの声で、はつきりと話す。
- 4 高い声ではなく、むしろ低い声を心がける。
- 5 話の中にジェスチャーや身振りを取り入れる。
- 6 わかりにくい話、大切な話などは、メモ用紙に書いて示す。
- 7 集まりの席では、なるべくみんなの顔、口が見える位置を選ぶ。

まわりの人が話し方のコツを覚えることで話が伝わりやすくなり、笑顔や会話が増えることでしょう。

### 入会希望者 説明会のお知らせ

シルバー人材センターでは、入会を希望する方のために左記のとおり、毎月1回説明会を開催しております。

「シルバーに入会するにはこの説明会を必ず受けていただく必要があります。説明会を受けた後に入会するかどうかご判断していただいています。」

シルバーに興味のある方、入会したいと思われる方は、お気軽に事務局へお申込み、お問い合わせください。お申込みいただくと、あらためて開催のご案内をお送りします。

申込方法 (次のいずれかで)  
電話 641-5565  
FAX 641-8816  
直接窓口へ  
申込資格  
藤枝市内に居住する60歳以上の方

#### 開催日

事務局にお問い合わせください

#### 時間

午後1時30分～4時

### 会員相談目的のお知らせ

センターの発展・会員の就業率の向上を目指し、平成21年度より毎月第3水曜日に会員相談日を実施しています。就業の斡旋をはじめ、就業上の困り事や要望等、様々な事について役職員が相談に応じます。お気軽においで下さい。

#### 開催日

毎月第3水曜日

#### 時間

午前10時～11時30分  
午後1時～3時30分

#### 問い合わせ

不明な点はお気軽に事務局(担当・村松)まで



## パソコン講座

ワード  
エクセル  
デジカメ  
はがき  
インターネット他

## 個人指導が大好評

ひとり一人、習う人の能力に応じて家庭的な雰囲気の中でベテランが指導致します。

いつでも受付け



お問い合わせ:シルバー人材センター 担当:村越係長 TEL:641-5565

# シルバー文藝

## 短歌

行き馴れし堤の小径に  
稲葉 原田 昌宏

咲けばその夜の夢は幼し  
たんぼぼの

葉の色にまがひて青き春蘭の  
花朝陰に咲くもゆかしき

高洲 村松 実  
春めくや道路工事の多きこと  
土手歩く春の足音追ってくる  
土手歩く会う人みんな春の顔

藤枝東 塩澤 みゑ  
初詣でカモメ横切る港町  
嫁ぐ娘の春着の裾を掻き集め  
花吹雪風の行方を見届ける

青島北 鷺山 延子  
水温む下校の子らの靴よこれ  
着古しの制服ピント鳥雲に  
花吹雪舞ひ上がらせて

藤枝東 松井 余白  
芽柳や池畔の鳩の忙しく  
春光や土手来る子らの歌揃ひ  
初蝶や色甦る野菜畑

## 俳句

青島南 柳田 鏡水

春近し高草山に雪化粧  
瀬戸川の青める柳春うらら  
藤祭り蓮華寺池に人の波

稲葉 良知 楮邨  
春浅し紙ヒコーキの宙に消ゆ  
芋煮汁母の秘伝のかくし味

青島北 勝又志づ江

バスの旅憩ふ茶店の桜餅  
帰り来て先づ洗顔の春の水  
野に遊ぶオカリナを吹く人の

ゐて

国訛り

稲葉 原田 昌宏  
春一番鈴の空鳴り絵馬騒ぐ  
初富士を指してガイドの  
当り籤引き換へにゆく  
春立つ日

青島南 柳田 牛歩  
懲りもせず請われて捻る

医師足りぬ市民病院に

成人病薬増えすぎ鬱になり

藤枝東 松井 余生

無位無冠無職の余生ぶらり旅  
路地うららダックスフントに  
豪放に生きてる人の涙脆

## 川柳

へぼ川柳

### 書道部会員募集中

書道部 栗田健吾

人間に備わった最大の武器として、見る・聞く・話すとして、「書く」という四大要素があり、五つ目に「造る」という本能を身に付け、自己を磨き上げようと努力してきたのが人類であり、今日の世界を造ってきたと云う事が出来ると思います。

古代より踊る・見る・書く・話すという各分野において、芸術といわれるものに進化してきております。

中でも白と黒の二色のみで表現できる書道は、最も身近な芸術であり、趣味や実益を兼ねたものにまでつながってくれるかも知れません。本人の努力次第で……。

当シルバー人材センター書道部では新しい会員を募集しています。年賀状の毛筆書きや、慶事用事の折の名前書きにも大いに役立つ書道を始めてみて下さい。

毛筆だけでなく、硬筆、ボールペン等も稽古しております。悩まず今すぐシルバー事務所へお電話下さい。

毎月3回、第1・第4金曜と第2土曜の9時30分～11時の3日間

### あとがき

シルバー人材センター始まって以来の大きな改革が4月から実施されます。

今号では、そうした改革について、総会の理事長の挨拶を始めとし、公益社団法人への移行、年会費を2千円に改正などの議決のほか、発注者への事務費を5%から7%にすること、互助会の慶弔費改定などについて記事にいたしました。

こうした厳しい状況の中で平成23年度がスタートします。シルバー人材センターも25余年を経て、政治・経済・社会情勢の変遷と共に変わって来るのは止むを得ないことですが、高齢者が生き甲斐を持つて生活できる場を作ることがシルバー人材センターに益々求められています。

こういう難局にこそ、シルバー人材センターの基本理念である「自主・自立・共働・共助」に立返って努力することが大切です。

花衣ぬぐやまつはる

紐いろいろ

久女

